

マクロ経済学B  
復習と練習問題  
来週の小テスト準備

2020年1月15日

第9～13回

# なぜ自由貿易を目指すのか

- 歴史的な背景：第二次大戦前の経済ブロック化、その結果としての世界大戦
- 保護貿易による国際紛争を防ごうとするため、GATTを創設
- GATTの関税に対する基本的な仕組みは、最恵国待遇。加盟国には、他の加盟国への輸出に際して最も低い関税率を適用される。
- 小テスト問題：GATTの関税に対する基本的な仕組みはなにか。

# 自由貿易の意義

- 自由貿易は、保護貿易よりも、その国にとって利益となると考えられる。その理由は、
  1. 比較優位による実質的な所得の増大
  2. 動学的利益による、経済成長の促進
- 小テスト問題：自由貿易が保護貿易よりも、その国の利益となるという理由はなにか。

# 外国為替

- 外国との取引には、經常的取引と資本取引がある。
  - 經常的取引は、貿易(財とサービス)、送金など
  - 資本取引は、金融証券の取引(つまり、お金の貸し借り)
- 外国と取引するには、外貨(外国の通貨)が必要である。外国通貨と自国通貨を交換するのが、外国為替取引である。
- その交換比率が、為替レートである。

# 為替レート

- ドル円の取引において、円高は、1ドル何円という為替レートの数字が小さくなることをいう。円安はその逆。
- 為替レートが円安となれば、輸出産業には利益、消費者には損失。
- 為替レートは、以下の要因で決まると考えられている。
  - 内外の金利差(短期的には金融政策)
  - 内外の経済情勢(長期的には経済成長や物価上昇)
  - 投機的な動き
- 小テスト問題：為替レートが円安となった場合の、利益と損失は、誰に向かうか。
- 小テスト問題：為替レートを決定する要因を列挙せよ。